



夏の温泉をイベントと  
観衆がさらに熱くする

第48回登別地獄まつり

8/  
27・28

8月27日(土)・28日(日)、極楽通り(登別温泉町)で『第48回登別地獄まつり』(市、登別観光協会主催)が行われ、約5万4千人が登別温泉の夏の一大イベントを楽しみました。

まつりは封印された地獄の釜のふたを開くところからスタート。メイン会場の極楽通りでは、今年リニューアルした『女みこし』や重さ約1トンの『鬼みこし』など4基のみこしが温泉街を練り歩く『鬼みこし暴れねりこみ』や、閻魔大王が真っ赤な顔で地獄の審判を下す『閻魔大王からくり山車』の運行が行われ、観客はその迫力に息を飲ましました。

また、『鬼踊り大群舞』では、陽気なはやしと太鼓に合わせて通りを埋め尽くす群集が『鬼踊り』を踊る中、居合わせた観客も飛び入りで参加するなど、登別温泉街は地獄の熱気に包まれていました。



▲『朝揚げ鮭の抽選即売会』の様子

取れたて新鮮  
朝揚げサケを求めて

第34回登別漁港まつり

9/  
10・11

9月10日(土)と11日(日)の2日間、登別漁港で『第34回登別漁港まつり』(同実行委員会主催)が行われ、大勢の市民や観光客でにぎわいました。

停泊している漁船に掲げられた、たくさんの大漁旗がまつりを彩る中、ウニ井やツブ焼きなどの新鮮な海産物を使った料理の販売や、太鼓やダンスの披露、バンド演奏、ビンゴ大会などの多彩な催しが行われました。

また、『朝揚げ鮭の抽選即売会』では、今年も鮭を求める人の行列ができ、運良く手に入れることができた参加者たちは袋に入れた新鮮な鮭を嬉しそうに持ち帰っていました。